

講義コード	21G1101000	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	芝田 英昭	開講期	1期
科目名	社会福祉原論				芝田 英昭			1期	
履修前提条件									
授業の目的	私たちは、生きていく上で様々な生活課題・問題を抱えます。例えば、貧困、失業、障害、介護、子育てなどで生活が立ち行かなくなることがありますが、社会福祉（社会福祉制度政策、ソーシャルワークなど）による支援によって、一定緩和・解決できます。本科目では、社会福祉の、原理、歴史、政策などを講義します。								
到達目標	学生が、社会福祉の制度・政策を理解し、対人援助や地域支援の実践方法を学ぶことで、社会福祉の概念を説明できる力を養う。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	本科目では、60時間以上の授業外学習を行なってください。特に、日常的に新聞記事を読み、現代社会に起こる様々な事象、特に社会福祉・社会保障に関する事象に関心を持ち、その内容をまとめる習慣をつけるようにしてください。								
授業計画	【第1回】授業のオリエンテーション 【第2回】社会福祉の基本的枠組 【第3回】日本における社会福祉の理解...日本国憲法と社会福祉 【第4回】日本における社会福祉の理解...保障制度審議会と社会福祉 【第5回】日本における社会福祉の理解...社会福祉・社会保障の構成・範囲を考える 【第6回】社会福祉を考える基本的視点...社会福祉・社会保障と生活問題 【第7回】社会福祉を考える基本的視点...社会福祉の目的 【第8回】社会福祉を考える基本的視点...社会福祉の機能 【第9回】社会福祉の発展と力学 【第10回】社会福祉の歴史（イギリスにおける社会福祉生成と発展の歴史...社会福祉・社会保障前史 【第11回】社会福祉の歴史（イギリスにおける社会福祉生成と発展の歴史...社会事業の萌芽 【第12回】社会福祉の歴史（イギリスにおける社会福祉生成と発展の歴史...社会保険の成立 【第13回】社会福祉の歴史（イギリスにおける社会福祉生成と発展の歴史...ベヴァリッジ体制の確立 【第14回】社会福祉・社会保障成立の条件 【第15回】本授業のまとめ								
成績評価の方法	中間レポート1回（20%）、最終レポート（70%）、および授業への取り組み姿勢（10%）で評価します。								
フィードバックの内容	毎回授業終了後に各人作成のノートにMicrosoftチームスに提出して頂き、その中の質問に対し翌週の授業でフィードバックします。								
授業実施形態について	通常講義形式で行いますが、インタラクティブ（双方向）になるように適宜質問を投げかけますので、考えられる範囲でお答えください。								
教科書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
『社会保障のあゆみと協同』	芝田英昭		自治体研究社		2022		ISBN978-4-88037-742-		
指定図書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
参考書									
書籍名	著者		出版者		出版年		ISBN/ISSN		
教員からのお知らせ	毎回授業終了後に各人作成のノートにMicrosoftチームスに提出して頂きます。出席は、教室のカードリーダーでのカウントと共に、ノート提出の双方が揃って出席となりますので、ご注意ください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、LMSのメッセージ機能でも受け付けます（利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照）。								
アクティブ・ラーニングの内容	授業での双方向方式の採用、受講生各人のノート作成など。								
その他									